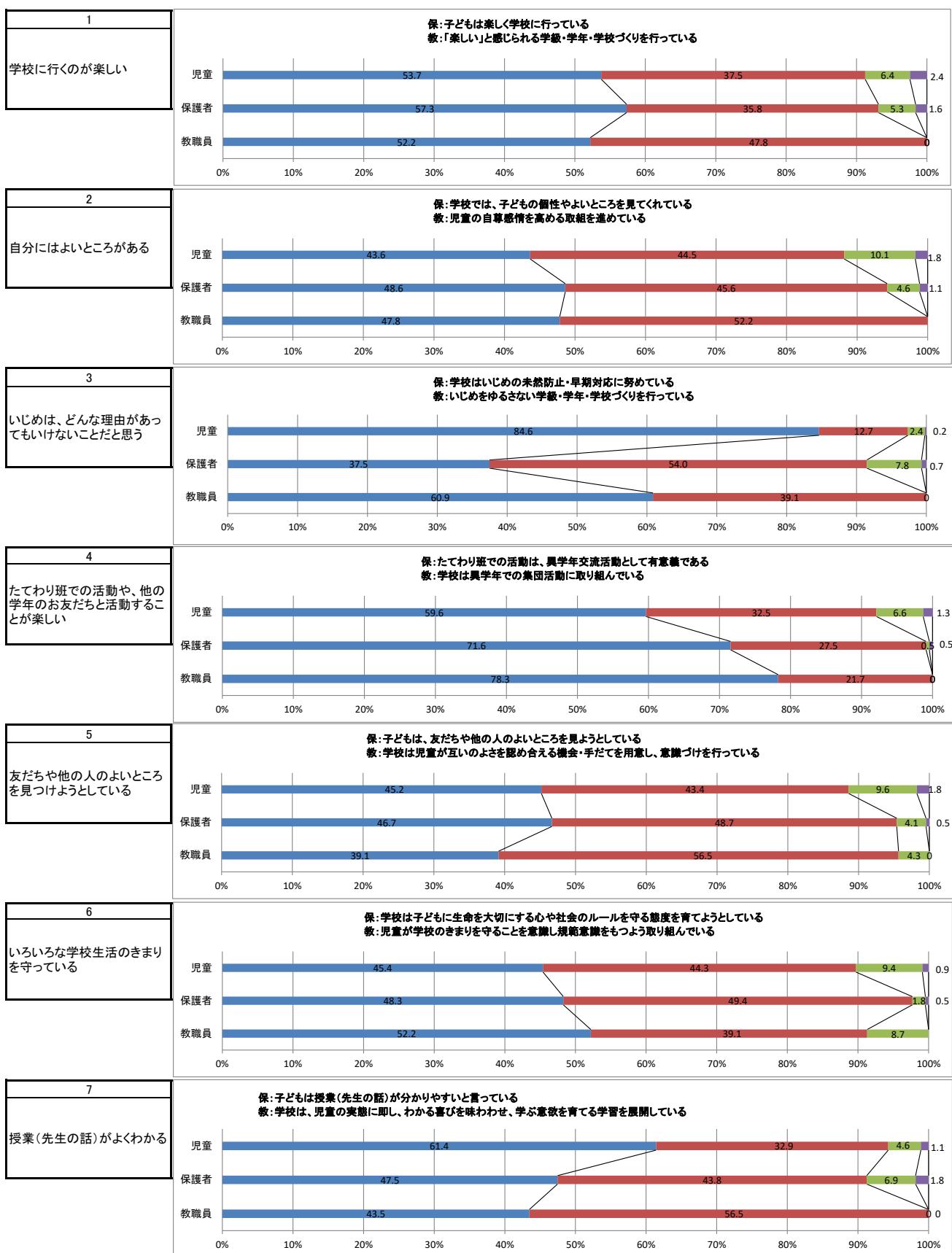
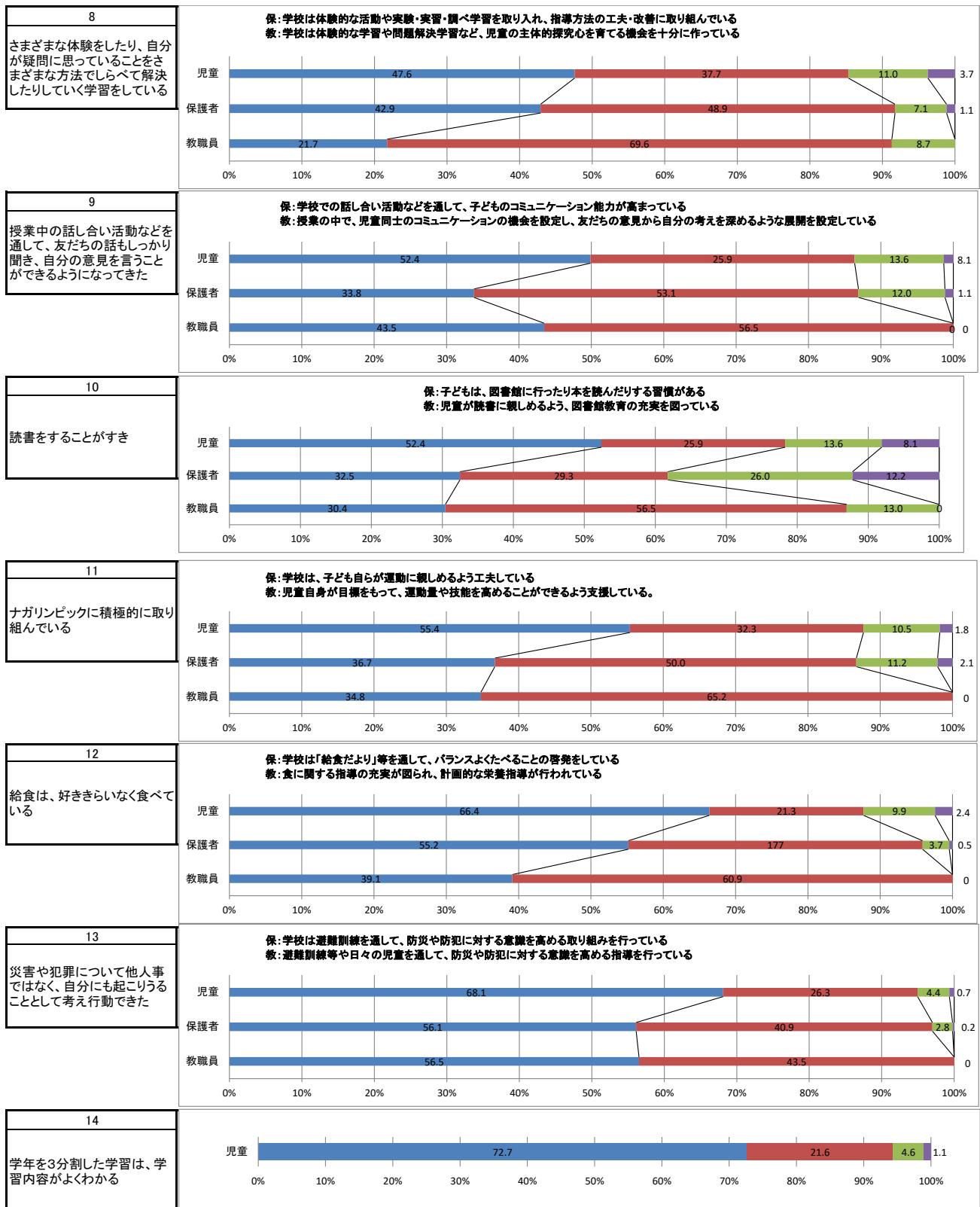


令和4年度

学校評価アンケート の結果





○「学校に行くのが楽しい」という問いに肯定的に回答している児童は91.2%、保護者は93.1%。教職員については、全教職員が「楽しい」と感じられるように取り組んでいるという結果である。児童に関しては昨年度よりも5.4%向上している。学校行事が少しずつコロナ禍以前に戻りつつあり、学校生活が充実してきている。

○「自分にはよいところがある」という問い合わせに肯定的に回答している児童は88.1%。昨年度よりも3.4%向上している。肯定的に回答しなかった児童の自尊感情を高めるための取組は、家庭と学校で連携し、継続して進める必要がある。学校行事や学習活動、終わりの会、朝会での表彰等、他人から認められる機会を多くもち、自己肯定感を高めるよう努める。

○本年度は、防災・防犯についてのアンケートも行った。「災害や犯罪について他人事ではなく、自分にも起こりうることとして考え方行動できた」という問い合わせに肯定的に回答している児童は94.9%と高い水準であった。今後も、計画的な避難訓練や防犯・防災指導の充実を図っていく。

○「読書をすることが好き」と回答している児童は78.3%であった。昨年度よりも2.0%向上した。図書館開放の際に密を避けるため入館者数の制限を行ったため、読みたいときに図書館を利用できない実態があった。しかし、本年度は低学年のみではあったが、コロナ禍で見合っていた「お話し会」を実施することができた。引き続き読書環境を整えたり、読書ノートを活用したりして、読書に親しむ姿勢をいっそう育んでいく。